**２．【研究計画】**適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、各事項の字数制限はありませんが、(1)と(2)を併せて２頁以内に収めてください。様式の変更・追加は不可。様式の変更・追加は不可。

（DC申請内容ファイル）

**(1) 研究の位置づけ**

特別研究員として取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

**(2) 研究目的・内容等**

① 特別研究員として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、特別研究員奨励費の応募区分（下記（※）参照）に応じて、具体的に記入してください。

③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

（研究目的・内容等の続き）

**３．人権の保護及び法令等の遵守への対応**　字数制限はありませんが、３，４，及び５を併せて２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　本欄には、「２.研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を記入してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、行動調査（個人履歴・映像を含む）、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。

　なお、該当しない場合には、その旨記入してください。

**４．【研究遂行力の自己分析】**上述の通り、字数制限はありませんが、３，４，及び５を併せて２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

*（注）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。*

*なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。*

**(1)** **研究に関する自身の強み**

**(2)** **今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素**

（研究遂行力の自己分析の続き）

**５．【目指す研究者像等】**上述の通り、字数制限はありませんが、３，４，及び５を併せて２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　日本学術振興会特別研究員制度は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。この目的に鑑み、「目指す研究者像」を記入してください。